

重要文化財（建造物）

天鏡閣 三棟

本館・別館・表門

ふるさと探訪

天鏡閣は、明治四十一年（一九〇八）春、有栖川家の別邸として建設され、同年八月に竣工したものである。その後高松宮家別邸として引継がれ、昭和二十七年、高松宮家より福島県に寄贈された。

本館はヨーロッパネッサンス様式をとり入れて、おそらく木造でつくりに出せる洋風の限界に近い建築である。二階建、八角塔屋付、西側に玄関ポーチを構えた、気品のある洗練された意匠を持つ建造物である。内外とも改造が少なく、よく保存されてきた。従業員用の別館や表門もほぼ同時期のものである。

昭和五十四年二月三日、国の重要文化財に指定されるとともに、本格的復原工事がおこなわれ、昭和五十七年九月三十日に完成した。

所在地 耶麻郡猪苗代町大字翁沢

字御殿山一〇四八の一四

所有者 福島県

